

# 平成24年11月の結果 (二人以上の世帯)

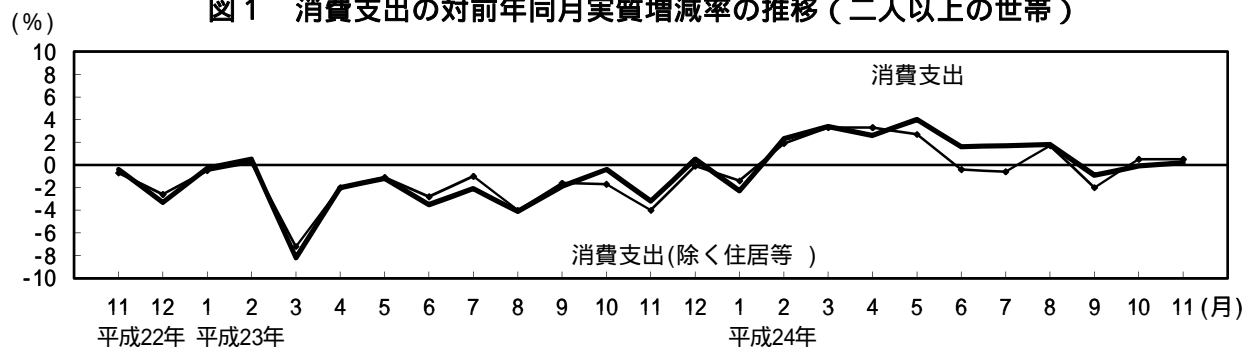
## 二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり	273,772 円		
前年同月比	実質 0.2%の増加 名目 0.1%の増加	前月比(季節調整値)	実質 0.1%の減少
消費支出(除く住居等)は、			
前年同月比	実質 0.5%の増加 名目 0.4%の増加	前月比(季節調整値)	実質 0.6%の減少
うち勤労者世帯の実収入は、		うち勤労者世帯の消費支出は、	
前年同月比	実質 2.1%の増加 名目 2.0%の増加	前年同月比	実質 1.8%の増加 名目 1.7%の増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

## 1 消費支出の推移

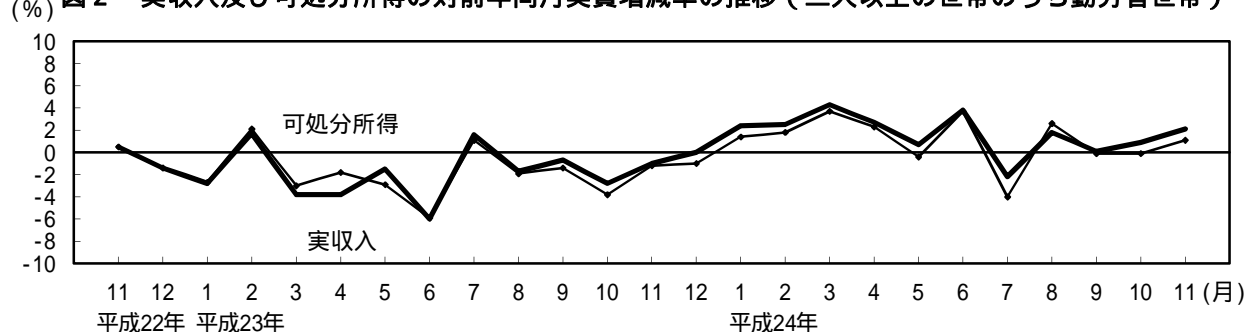
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	平成23年		平成24年											
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
消費支出	-3.2	0.5	-2.3	2.3	3.4	2.6	4.0	1.6	1.7	1.8	-0.9	-0.1	0.2	
消費支出(除く住居等)	-4.0	-0.1	-1.4	1.9	3.3	3.3	2.7	-0.4	-0.6	1.7	-2.0	0.5	0.5	

## 2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	平成23年		平成24年											
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
実収入	-1.0	0.0	2.4	2.5	4.3	2.7	0.7	3.8	-2.2	1.8	0.1	0.9	2.1	
可処分所得	-1.2	-1.0	1.4	1.8	3.7	2.3	-0.4	3.7	-4.0	2.6	-0.1	-0.1	1.1	
消費支出	-4.1	0.9	-2.9	2.8	4.3	3.8	0.9	2.5	1.5	0.9	0.6	0.7	1.8	
平均消費性向	-2.5	0.8	-3.7	0.7	0.5	1.3	1.3	-0.6	3.9	-1.4	0.7	0.6	0.6	

\*：対前年同月ポイント差

### 3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成24年11月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	273,772	0.1	0.2	0.2		3 か月ぶりの実質増加
食 料	64,241	-1.2	-0.7	-0.17	<減 少> 魚介類,菓子類など	2 か月連続の実質減少
住 居	18,862	-1.1	-0.8	-0.06	<減 少> 家賃地代	4 か月連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	19,940	3.9	0.8	0.06	<増 加> 他の光熱,電気代	6 か月ぶりの実質増加
家具・家事用品	9,934	-3.6	-1.6	-0.06	<減 少> 家庭用耐久財,家事サービスなど	4 か月ぶりの実質減少
被 服 及 び 履 物	13,814	4.4	4.8	0.23	<増 加> 洋服,他の被服など	7 か月ぶりの実質増加
保 健 医 療	13,144	0.8	1.5	0.07	<増 加> 医薬品,保健医療サービス	7 か月連続の実質増加
交 通 ・ 通 信	38,261	4.4	4.2	0.56	<増 加> 交通,通信など	10か月連続の実質増加
教 育	9,397	-14.6	-14.9	-0.60	<減 少> 授業料等,補習教育など	2 か月ぶりの実質減少
教 養 娛 楽	26,917	-0.2	0.6	0.06	<増 加> 教養娯楽サービス	6 か月ぶりの実質増加
その他の消費支出	59,262	0.5	(0.6)	(0.14)	<増 加> 仕送り金,諸雑費	2 か月ぶりの増加

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

#### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

##### 中 分 類

##### 品 目

##### < 増加項目 >

##### 実質寄与度

設備修繕・維持	[0.49]	.....	外壁・塀等工事費,火災・地震保険料
教養娯楽サービス	[0.24]	.....	宿泊料,語学月謝
交通	[0.23]	.....	鉄道運賃,鉄道通勤定期代
通信	[0.22]	.....	移動電話通信料,移動電話
自動車等関係費	[0.15]	.....	ガソリン,自動車整備費
洋服	[0.14]	.....	男子用コート,背広服

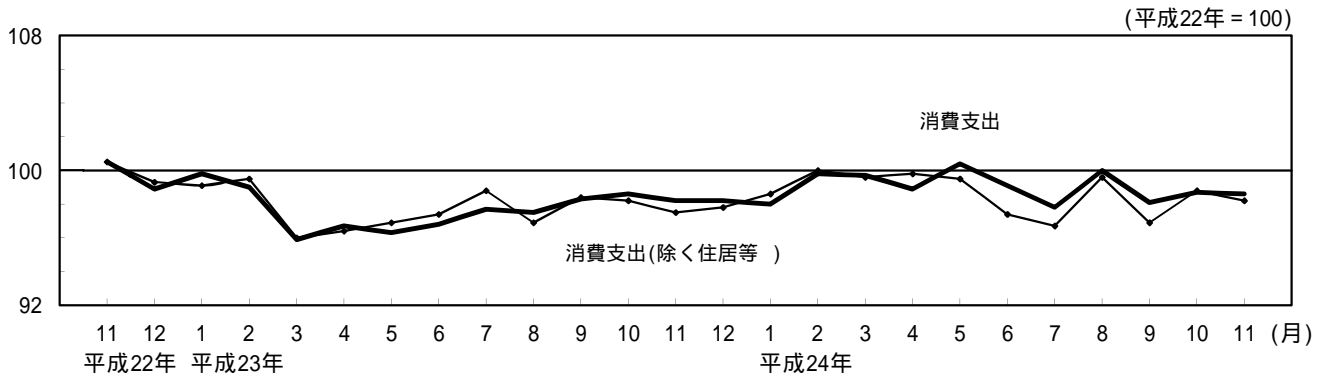
##### < 減少項目 >

家賃地代	[-0.55]	.....	民営家賃,公営家賃
授業料等	[-0.40]	.....	専修学校,幼稚園
補習教育	[-0.19]	.....	幼児・小学校補習教育,中学校補習教育
交際費	[-0.16]	.....	贈与金

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	平成23年		平成24年										
	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
消費支出	98.2	98.2	98.0	99.8	99.7	98.9	100.4	99.1	97.8	100.0	98.1	98.7	98.6
対前月変化率(%)	-0.4	0.0	-0.2	1.8	-0.1	-0.8	1.5	-1.3	-1.3	2.2	-1.9	0.6	-0.1
消費支出(除く住居等)	97.5	97.8	98.6	100.0	99.6	99.8	99.5	97.4	96.7	99.6	96.9	98.8	98.2
対前月変化率(%)	-0.7	0.3	0.8	1.4	-0.4	0.2	-0.3	-2.1	-0.7	3.0	-2.7	2.0	-0.6

注 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

## 4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成24年11月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	432,681	2.0	2.1	2.1	4か月連続の実質増加
世 帯 主 収 入	353,094	0.0	0.1	0.08	5か月ぶりの実質増加
定 期 収 入	349,130	-0.1	0.0	-0.04	
配 偶 者 の 収 入	56,776	11.8	11.9	1.42	12か月連続の実質増加
う ち 女 性	56,126	11.4	11.5	1.37	13か月連続の実質増加
他の世帯員収入	9,230	19.6	19.7	0.36	2か月連続の実質増加
非 消 費 支 出	78,331	6.6	-	-	3か月連続の増加
可 処 分 所 得	354,350	1.0	1.1	-	3か月ぶりの実質増加
消 費 支 出	300,181	1.7	1.8	-	10か月連続の実質増加
平均消費性向(%)	84.7	(前年同月) (ポイント差)			季節調整値でみると、75.0%で、前月に比べ、1.0ポイントの上昇となった。
		84.1	0.6		